

『美しい力ある歩み』 ～ 『先人からの学び』 ～

2025 年 2 月 23 日は、天皇誕生日(天皇陛下 65 歳)と【「富士山の日」語呂合わせから 2(ふ)2(じ)3(さん)】であった。筆者は、【雪の積もる壮大な品格のある『富士山(3776m)』】の姿には、大いに心が慰められた。【筆者の誕生の年の母の元旦の夢が『富士山』であり、幼児の時から『富士山子』と母に励まされたものである。】故に【富士山】には特別な思いがある。『愛情の原点』となった！

筆者の故郷の島根県出雲市大社町鶴峠は、無医村で小学校も中学校も廃校になった。現在では人口 34 名、60%の空き家である。母は自宅に於いて、安らかに 96 歳(1923 年 2 月 20 日～2019 年 6 月 3 日)の天寿を全うした。母の兄達は、太平洋戦争で戦死し、末っ子の母が我が家を継いだ。そして祖父から、『家を興(おこ)す=樋野興夫=ひのおきお=Origin of Fire』と命名されたと、膝に抱かれて聞かされた幼年時代の思い出が鮮明に脳裏に蘇る。【『興』=『国を興す 産業を興す 振興 興起 興隆 再興 復興』=『美しい力ある歩み』】

2 月 23 日は、2008 年から CAJ で始めた『東久留米がん哲学外来』に赴いた。終了後、2007 年からスタートした『読書会』を行った。若き日からの座右の書である英文で書かれた新渡戸稲造(1862-1933)『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄(1893-1961)訳)と内村鑑三(1861-1930)『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めている。今回の『読書会』の箇所は新渡戸稲造著【武士道 7 章『誠』】で、今回の学びは【『誠』=『言』と『成』との結合=『口に出したことは必ず実行する』】であった。

2025 年 2 月 24 日は、筆者は、南原繁研究会に Zoom 参加した。2004 年にスタートした南原繁研究会【初代代表：鴨下重彦先生(1934-2011)、東京大学名誉教授、国立国際医療センター名誉総長)、第 2 代代表：加藤節先生(成蹊大学名誉教授)】の 3 代目の代表を 2019 年南原繁(1889-1974)生誕 130 周年を祝い、筆者は仰せつかった。今回も、『純度の高い研究』には、大いに勉強になった。『先人からの学び』の日々である(画像：救世軍清瀬病院チャプレン野口恵子先生が、筆者の講演で作ってくださった作品)



樋野先生が
新渡戸稲造の言葉で
感銘を受けた
「言葉の処方箋」
10か条

1. 間断なき努力は
進歩の条件
2. 自分の力が人の役に立つ
と思うときは 進んでやれ
3. 意思は人なり
4. 人の欠点を指摘する必要はない。
人の過ちは語るに足りぬ
5. 学問より実行
6. 理由があっても腹をたてぬこそ
非凡の人
7. 花は芽にあり
8. 威厳は優しき声に現れる
9. われ太平洋の橋とならん
10. 心がけにより
逆境も順境とされる



少	多	弱	強	薄	厚	浅	深	低	高	つもりちがい十カ条
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	
つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	
も	も	も	も	も	も	も	も	も	も	
り	り	り	り	り	り	り	り	り	り	
で	で	で	で	で	で	で	で	で	で	
多	な	強	弱	厚	薄	深	浅	高	低	
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	
が	が	が	が	が	が	が	が	が	が	
無	分	自	根	面	人	欲	知	気	教	
駄	別	我	性	皮	情	望	識	位	養	